

## WEEKLY REPORT

家族例会時の写真貸出ご協力依頼

2024/5/20(月) 親睦委員 佐久間音弥

平素よりお世話になっております。6月12日(水)開催予定の家族例会を盛り上げるべく余興の企画を検討中でございます。そこで皆様から人生の思い出のお写真をお借りし、パソコンを通してスクリーンに映しながら人生の思い出を語っていただく企画を検討しております。そこで親睦委員である①佐久間に写真を送っていただくか、6月5日(水)の例会にご持参いただくよう、ご協力お願いいたします。

— 記 —

受付：6月5日(水) まで

対象者：家族例会に参加予定の方で企画にご協力できる方

写真の送り先 / 送り方

(1) 写真データの場合 ⇒ 電子メールで info@sakumatechnica.com

(2) 写真(物理的)の場合 ⇒ 6月5日(水)の例会時に佐久間に手渡し

注意：(1) 時間の都合上、写真を送っていただいた全ての方の写真をご紹介できかねます。(2) フィルムカメラで撮影した写真については返却予定です。返却できるようお写真の裏側や封筒等入れ物にお名前を記載いただくなどお願いいたします。

お問い合わせ先：佐久間音弥 090-7840-1342メール info@sakumatechnica.co

### 【本日のニコニコ】

渡辺敏弘会員 結婚記念日のお祝い、ありがとうございます。あと2年つつがなく過ぎ、50周年を迎えたくねがっています。

鈴木悦朗会員 松戸北クラブになかなか出られなくてすみませんでした。5月22日の5クラブ親睦ゴルフを成功させて、ガバナー補佐を終えたいと思います。皆様、どうぞよろしくをお願いいたします。

森谷充伯会員 家内の誕生日プレゼントありがとうございます。元気で楽しく過ごしています。

齋藤國春会員 結婚記念のお祝いをいただきありがとうございます。2人とも健康で晩年を楽しみたいと思います。

野澤新之助会員 誕生日のお祝い、結婚記念日のお祝いをありがとうございます。結婚15年をむかえました。妻への感謝の気持ちを忘れずにがんばります。

岡本真理子会員 誕生日のお祝いありがとうございます。今年の夫からの誕生日プレゼントはゴルフ用のキャップでした。がんばって練習します。

大川由紀子会員 5月12日に開催されました松戸芸術舞踊協会の全国バレエコンクールで、生徒が高得点で優勝、松戸市長賞・審査員特別賞、W受賞しました。私も優秀指導者賞頂きました。ニコニコどすえ～！

《会報編集委員》平野崇広・岡本真理子・小椋伸也・佐久間音弥・渋谷剛士

社会奉仕基金 2424円

Rotary 2023-2024年度

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ

# 松戸北ロータリークラブ会報



「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

例会出席率 65.6%

第2436回 例会 2024年 5月15日(水)

- 国際ロータリー会長 ゴードンR. マッキナリー
- 第2790地区ガバナー 鶴沢 和広
- 第13Gガバナー補佐 鈴木 悦郎
- 松戸北ロータリークラブ会長 小澤 直之
- 松戸北ロータリークラブ幹事 高橋 一彦
- 例会日 - 毎週水曜日12:30より (第1例会18:30)
- 例会場 - 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」
- 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101
- TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
- Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

## ＜第2418回 例会プログラム＞

司会 宮野嗣英委員

|                     |         |
|---------------------|---------|
| 12:30 点鐘            | 小澤直之会長  |
| 国歌及びロータリーソング斉唱      |         |
| 【♪君が代♪奉仕の理想】        |         |
| 12:35 会食            |         |
| 18:55 例会再開          |         |
| 会長挨拶・報告             | 小澤直之会長  |
| 幹事報告                | 高橋一彦幹事  |
| 13:00 【地区研修協議会報告】   |         |
| 13:20 【委員会報告】       |         |
| 出席親睦委員会             | 森谷充伯委員長 |
| 諸事お祝い・本日の出席率発表      |         |
| 社会奉仕委員会 本日の社会奉仕基金発表 | 大塚精一委員長 |
| ニコニコ委員会 本日のニコニコ発表   | 吉田俊一会員  |
| 13:30 四つのテスト/点鐘     | 小澤直之会長  |



## ＜会長挨拶＞※地区ラーニング協議会レポート

【奉仕プロジェクト部会】(1) 職業奉仕委員会

今回の要点はV T T（職業研修チーム）についての推奨でした。V T Tとは「専門職業人のグループが海外に赴き、スキルや知識を学んだり、現地の専門職業人にスキルや知識を提供するもの」との事です。過去実績を見ると海外のロータリークラブが積極的に取り組んでいる感じがします。これについてはクラブ単位ではなく地区単位で活動するような内容に受け止められました。近々で北クラブに落とし込むことではないかなと思いました。

(2) 国際奉仕委員会 職業奉仕に比べて実現性が高そうで興味を持たれたのが国際奉仕のT S U N A G U 2 7 9 0事業でした。国際奉仕はどうしても縁遠いという感があって、以前T S U N A G U 2 7 9 0というワードを聞いた時もあえて積極的に内容を理解しようとしていませんでした。ただ今回の部会で話しを聞けば、なんてことはないクラウドファンディングのような簡単な仕組みでした。まず、提唱クラブが海外への奉仕の事業計画を立ててセミナー開催してプレゼンを行います。そこで賛同するクラブが出たら、それが賛助クラブとなります。その賛助クラブがお金を出し合ってひとつの提唱クラブが実行する奉仕事業に協力するとう、国際奉仕に携わる入門編みたいなものだと思います。北クラブとしては国際奉仕に一步踏み出すのにいいかなと個人的にも思いました。例として…しもだて紫水R C提唱クラブとしてフィリピンへ文房具を支援したプロジェクトは、支援額は375,000円ですが24クラブが賛助会員で協力して実現したそうです。1クラブ単位の負担も非常に少ないので色々な国際奉仕に絡むことも可能だと思います。

(3) 環境委員会 カーボンニュートラルに特化した活動に力を入れているとの事で、成田空港株式会社が数年前より取り組んでいる「S A F」＝「持続可能な航空燃料」に協力をしていくようなお話でした。S A Fとは植物や廃油などから作ったバイオ燃料で、従来の原油からつくる燃料と比べて二酸化炭素の排出量を80%程度減らせるそうです。2790地区がどのようにかわっていくかは解りませんが、原料となる廃食油などを集めて提供するような活動と解釈しました（駆け足での説明だったので、受け方を間違っている可能性もあります）様子を見ながら参戦していくレベルでよいのかなと思いました

## 【奉仕プロジェクト部会】野澤社会奉仕委員

奉仕プロジェクト部会に参加してまいりました。地区プロジェクト各委員長の発表がありました。記憶に残った3点ほどを発表いたします。

## ① 地区奉仕補助金を活用しよう

地区では今年の申請期間が3月にあり50件を超えるクラブから申請がありました。

多くのクラブが積極的に奉仕事業を行っていると感じました。

ただ一方で、年度をまたいでしまうことも影響するのかこれまでに1度も申請をしていないクラブも40クラブほどあるようです。

クラブの繁栄の為に地区補助金を使って奉仕事業を行いましょと呼びかけていました。

当クラブも今年も補助金申請を提出し審査中です。昨年同様なかよし学級への梨狩り体験に加えて、生育過程についても子供たちに伝える食育・校外学習支援事業としての申請です。

## ② Tunagu2790 プロジェクト

これは国際奉仕事業参画クラブを増やすためのプロジェクトです。国際奉仕活動は一部の限られたロータリアンの活動分野と思われがちのため、参加するクラブを増やす目的で作られました。概要としてはまずプロジェクトを立案し、立案した提唱クラブによるプレゼンテーション、そして賛助クラブを募集しプロジェクトを実施して報告する、といった流れです。クラウドファンディングに似た要素があります。国際奉仕活動には地域調査の実施や奉仕活動のためには多額の資金が必要な印象もありましたが、Tunagu2790プロジェクトでは賛助クラブは負担が少なくても共同で行える利点があります。まずはプロジェクトの賛助クラブとして活動し段階的に提唱クラブへと活動の幅を広げていくのも良いのではないかと思います。

## ③ 環境委員会

地区としてカーボンニュートラルへの対策に賛同しています。具体例として成田空港運営会社が行うS A F（サブ）「Sustainable Aviation Fuel（持続可能な航空燃料）」への取り組みでco2を出さないようにすることや、燃料の地産地消推進などに取り組んでいるとのことでした。現時点ではクラブとしては環境委員会も設置しておりませんので、地区の動向を継続的に注視して柔軟に対応できる準備をしていきたいと思えます

## 【ロータリー財団委員会】織田ロータリー財団委員長

ロータリー財団部会は、ロータリー財団統括委員会、財団資金管理・寄付推進委員会、グローバル補助金プロジェクト委員会、地区補助金プロジェクト委員会、奨学生・学友委員会、ロータリーポリスプラス委員会、ロータリー平和フェロシップ委員会の7委員会より構成されており、今回の研修会は、各委員長より、次年度の方針が報告されました。まず、財団寄付金に関しましては、昨年実績が、2790地区は\$151.00で目標の\$150を達成出来たとの事でしたが、これは全国で11位、関東圏内10地域では7番目でありましたが、より一層の上乗せの依頼がありました。次にグローバル補助金、地区補助金については、2790地区全84クラブの内補助金申請があるのが、54クラブで全体の7割程でありコロナウイルスの終結に伴い各クラブの活動が活発になっておりますが、より一層の活用で全クラブ申請を目標としているとの報告がありました、これに関しては、申請時期が早い時期、また同一事業、同一対象者には2年続けての補助金が使えない使い勝手の悪さがある事への見直し、それと、他クラブでの補助金活用事業を積極的に広報して欲しいとの意見があり、委員会としても検討するとの事でした。ポリオプラスにつきましては、全世界からの根絶、あとパキスタン、アフガニスタンの2カ国、世界ポリオデー（10月24日）のイベント実施の予定、平和フェロシップについては、ロータリー平和センターが、国際基督教大学にあり、2790地区はホストエリアとして学生の受け入れを過去20名、派遣を2名との実績があり現在も2名の受け入れを行っているとの報告がありました